JICA海外協力隊による

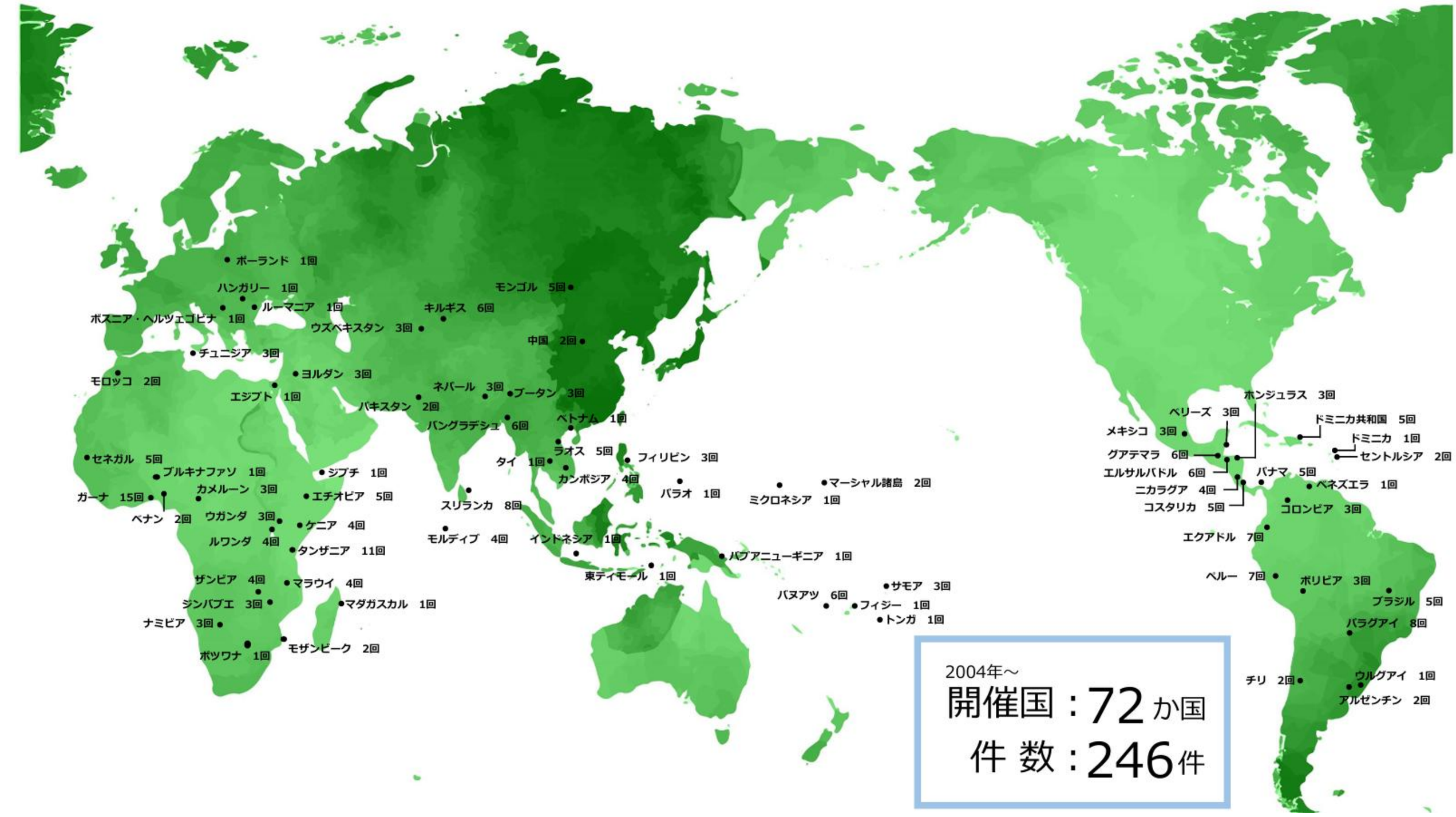
原爆展とは

はじまり

2004年、広島県出身の青年海外協力隊員4名が偶然にも中米・ニカラグアに派遣されました。それをきっかけに、第一回原爆展をニカラグアで開催されました。

JICAボランティアの原爆展は、派遣中のボランティアの中から有志が集まり開催するものです。協力隊の活動現場は90か国以上の世界中に広がっており、また隊員の活動も、世界の安定と平和に貢献する活動であることから、
原爆展の趣旨に賛同するボランティアが多くいます。
その結果、ボランティアによる原爆展は着実に世界各国に広まり、現在も続いています。

開催場所と回数



JICAボランティアが活動する開発途上国の多くは、過去に内戦や紛争の歴史を抱えています。
大切なことは、その国の歴史に寄り添いながら、ヒロシマ・ナガサキを伝え、お互いの歴史を共有すること。現地の人と同じ生活をし、同じものを食べ、同じ目線で活動するJICA海外協力隊が伝えるヒロシマ・ナガサキだからこそ、現地の人たちはより身近に感じてくれるのかもしれません。